

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ロシア株マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ロシア株マザーファンド	ロシアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにロシアの企業のDR（預託証券）
マザーファンドの運用方法	<p>①主としてロシアの株式（※）の中から、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※株式…DR、米ドル建ての株式等を含みますので、投資対象国以外の通貨の為替リスクが発生する場合があります。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。</p> <p>イ. 業績動向、流動性等により銘柄の定量分析を行ない、投資対象銘柄を決定します。</p> <p>ロ. 財務内容、経営陣の評価、セクター内の競争力、バリュエーション、利益成長等に着目し、買付候補銘柄を決定します。</p> <p>ハ. ポートフォリオの構築においては、業種分散、銘柄分散を考慮します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてマザーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ・ロシア株ファンド

## 運用報告書(全体版) 第19期

(決算日 2017年8月21日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ロシア株ファンド」は、このたび、第19期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4778>

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	百万円
15期末(2015年8月20日)	7,536	0	△ 4.8	5,950	△ 3.7	90.7	—	4,489
16期末(2016年2月22日)	6,190	0	△ 17.9	4,990	△ 16.1	90.4	—	3,534
17期末(2016年8月22日)	7,276	0	17.5	5,975	19.7	97.2	—	4,088
18期末(2017年2月20日)	9,598	0	31.9	8,050	34.7	91.4	—	8,929
19期末(2017年8月21日)	8,579	0	△ 10.6	7,158	△ 11.1	85.9	—	7,910

(注1) MSCIロシア10/40指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIロシア10/40指数(配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIロシア10/40指数(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

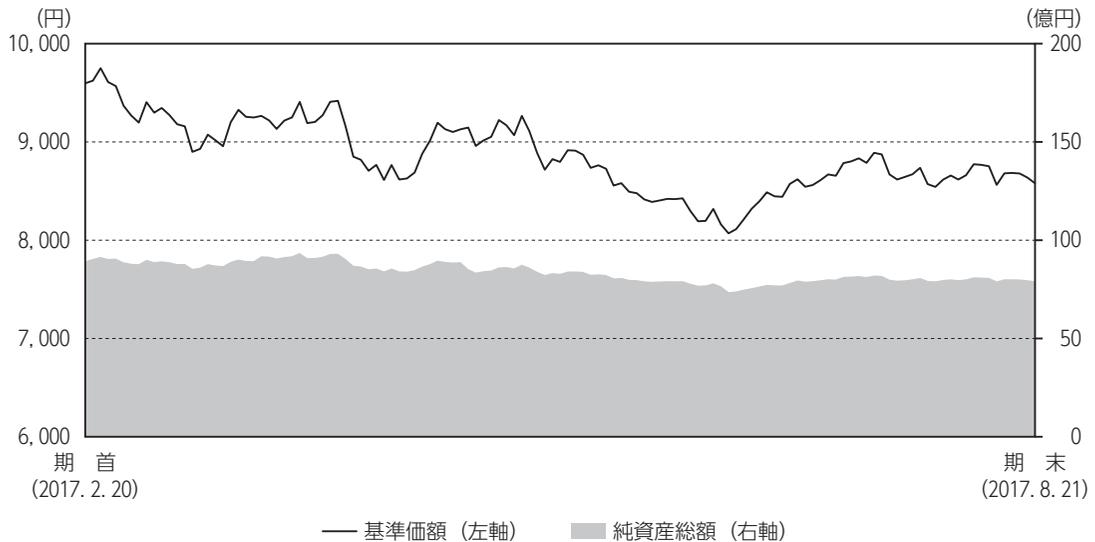
(注3) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,598円

期末：8,579円

騰落率：△10.6%

#### ■ 基準価額の変動要因

マザーファンドを通じてロシアの株式に投資した結果、ロシア株式市況や対円でのロシア・ルーブル為替相場が軟調に推移したことにより、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ロシア株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2017年2月20日	9,598	—	8,050	—	91.4	—
2月末	9,271	△ 3.4	7,735	△ 3.9	92.0	—
3月末	9,407	△ 2.0	7,877	△ 2.1	93.0	—
4月末	9,102	△ 5.2	7,549	△ 6.2	92.6	—
5月末	8,727	△ 9.1	7,274	△ 9.6	87.0	—
6月末	8,447	△ 12.0	7,001	△ 13.0	94.6	—
7月末	8,571	△ 10.7	7,154	△ 11.1	88.6	—
(期末)2017年8月21日	8,579	△ 10.6	7,158	△ 11.1	85.9	—

(注) 騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2017. 2. 21 ~ 2017. 8. 21)

**ロシア株式市況**

ロシア株式市況は、米国のトランプ大統領とロシアとの不透明な関係を巡る疑惑（ロシアゲート）の深刻化が警戒され米国とロシアの関係改善への期待が後退したことや、ウクライナ情勢を巡り欧州が経済制裁の延長を決めたこと、また米国の原油在庫増などを受けて原油価格が下落したことなどから、期首から2017年6月中旬にかけて下落基調となりました。その後は、米国の利上げペースが緩やかになるとの見通しから新興国株式市場が堅調に推移したことや原油価格が上昇したことなどが支援材料となり、期末にかけては上昇基調となりました。

**為替相場**

対円で見たロシア・ルーブルは、原油価格の下落や政策金利の引き下げなどがマイナス要因となりましたが、ロシア経済の回復期待や米国の格付会社のスタンダード・アンド・プアーズ（S & P）がロシアの格付け見通しを「安定的」から「ポジティブ」に引き上げたことなどが支援材料となり、期首から2017年5月末にかけてはボックス圏での推移となりました。その後は、トランプ政権の政策実行能力への不透明感が高まったことなどから円高が進行したことや、米国議会でロシア制裁強化法案が可決されたことなどがマイナス要因となり、期末にかけて下落しました。

**前期における「今後の運用方針」****当ファンド**

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

**ダイワ・ロシア株マザーファンド**

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。原油価格の回復が支援材料となる中、安定的なキャッシュフローが見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、企業業績の回復見通しや割安な株価バリュエーション等が支援材料となる金融セクターなどに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界的な経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

## ポートフォリオについて

(2017. 2. 21 ~ 2017. 8. 21)

### 当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資しました。

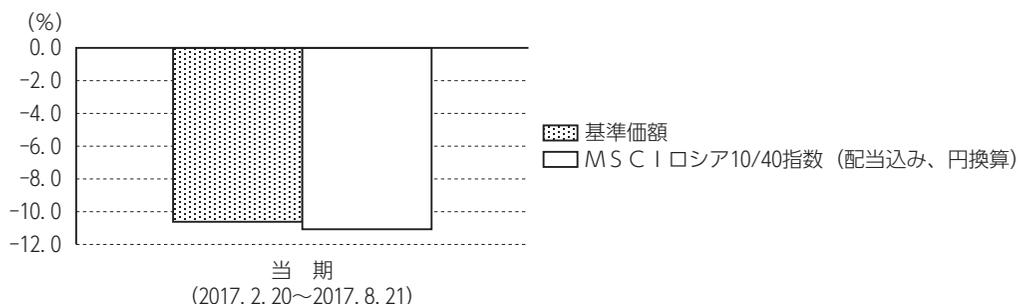
### ダイワ・ロシア株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託しております。株式組入比率は、85%程度以上を維持しながら、市場環境などに応じて機動的に変動させました。業種では、原油価格の値動きが大きくなる中、キャッシュフローの増加が見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、企業業績の回復見通しや割安な株価バリュエーション等が支援材料となる金融、素材セクターなどを高位としました。個別銘柄では、MAGNIT（生活必需品）、NLMK（素材）、MMC NORILSK（素材）、LUKOIL（エネルギー）などを組入上位としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2017年 2月21日 ～2017年 8月21日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,410

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。  
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

### ■ダイワ・ロシア株マザーファンド

当ファンドは、豊富な天然資源という強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。原油価格の値動きが大きくなる中、キャッシュフローの増加が見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、企業業績の回復見通しや割安な株価バリュエーション等が支援材料となる金融、自国通貨安や鉄鋼価格の回復などの恩恵が期待される素材セクターなどに注目していきます。株式組入比率については、原油価格、世界的な経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 2. 21～2017. 8. 21)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	80円	0. 905%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 845円です。
(投 信 会 社)	(38)	(0. 431)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0. 431)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(4)	(0. 043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	20	0. 223	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(20)	(0. 223)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	17	0. 187	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(13)	(0. 148)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0. 037)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	116	1. 315	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年2月21日から2017年8月21日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ロシア株マザーファンド	739,228	787,000	889,963	907,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年2月21日から2017年8月21日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・ロシア株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	10,760,733千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,780,668千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.38

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ロシア株マザーファンド	7,982,134	7,831,398	7,858,808	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年8月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ロシア株マザーファンド	7,858,808	98.3
コール・ローン等、その他	133,385	1.7
投資信託財産総額	7,992,193	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.37円です。

(注3) ダイワ・ロシア株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,864,118千円)の投資信託財産総額(7,925,126千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年8月21日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,992,193,860円
コール・ローン等	133,385,049
ダイワ・ロシア株マザーファンド (評価額)	7,858,808,811
(B) 負債	81,324,051
未払解約金	5,242,898
未払信託報酬	75,855,484
その他未払費用	225,669
(C) 純資産総額 (A - B)	7,910,869,809
元本	9,220,892,676
次期繰越損益金	△ 1,310,022,867
(D) 受益権総口数	9,220,892,676口
1万口当り基準価額 (C / D)	8,579円

\* 期首における元本額は9,303,890,310円、当期中における追加設定元本額は1,574,226,689円、同解約元本額は1,657,224,323円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,579円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,310,022,867円です。

■損益の状況

当期 自2017年2月21日 至2017年8月21日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	△ 27,961円
受取利息	1,924
支払利息	△ 29,885
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	△ 785,226,342
売買益	108,239,552
売買損	△ 893,465,894
<b>(C) 信託報酬等</b>	△ 76,081,519
<b>(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)</b>	△ 861,335,822
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	457,909,070
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	△ 906,596,115
(配当等相当額)	( 686,537,315)
(売買損益相当額)	(△ 1,593,133,430)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	△ 1,310,022,867
<b>次期繰越損益金 (G)</b>	△ 1,310,022,867
追加信託差損益金	△ 906,596,115
(配当等相当額)	( 686,537,315)
(売買損益相当額)	(△ 1,593,133,430)
分配準備積立金	613,767,782
繰越損益金	△ 1,017,194,534

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 16,613,775円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	155,858,712円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	686,537,315
(d) 分配準備積立金	457,909,070
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,300,305,097
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,300,305,097
(h) 受益権総口数	9,220,892,676口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ・ロシア株マザーファンド

## 運用報告書 第19期 (決算日 2017年8月21日)

(計算期間 2017年2月21日～2017年8月21日)

ダイワ・ロシア株マザーファンドの第19期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ロシアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにロシアの企業のDR（預託証券）
運用方法	<p>①主としてロシアの株式（※）の中から、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※株式…DR、米ドル建ての株式等を含みますので、投資対象国以外の通貨の為替リスクが発生する場合があります。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。</p> <p>イ. 業績動向、流動性等により銘柄の定量分析を行ない、投資対象銘柄を決定します。</p> <p>ロ. 財務内容、経営陣の評価、セクター内の競争力、バリュエーション、利益成長等に着眼し、買付候補銘柄を決定します。</p> <p>ハ. ポートフォリオの構築においては、業種分散、銘柄分散を考慮します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態 で信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤保有外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

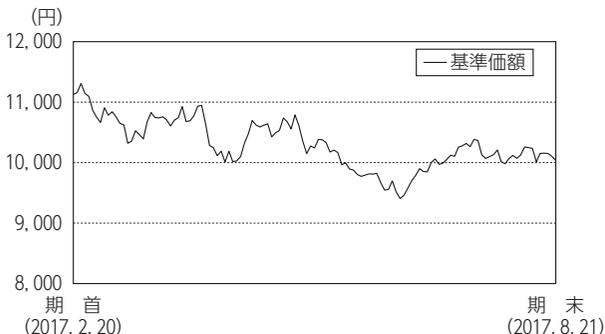
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



【運用経過】

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,127円 期末：10,035円 騰落率：△9.8%

【基準価額の主な変動要因】

当期の基準価額は、ロシア株式市況や対円でのロシア・ルーブル為替相場が軟調に推移したことにより、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○ロシア株式市況

ロシア株式市況は、米国のトランプ大統領とロシアとの不透明な関係を巡る疑惑（ロシアゲート）の深刻化が警戒され米国とロシアの関係改善への期待が後退したことや、ウクライナ情勢を巡り欧州が経済制裁の延長を決めたこと、また米国の原油在庫増などを受けて原油価格が下落したことなどから、期首から2017年6月中旬にかけて下落基調となりました。その後は、米国の利上げペースが緩やかになるとの見通しから新興国株式市場が堅調に推移したことや原油価格が上昇したことなどが支援材料となり、期末にかけては上昇基調となりました。

○為替相場

対円で見つたロシア・ルーブルは、原油価格の下落や政策金利の引き下げなどがマイナス要因となりましたが、ロシア経済の回復期待や米国の格付会社のスタンダード・アンド・プアーズ（S & P）がロシアの格付け見通しを「安定的」から「ポジティブ」に引き上げたことなどが支援材料となり、期首から2017年5月末にかけてはボックス圏での推移となりました。その後は、トランプ政権の政策実行能力への不透明感が高まったことなどから円高が進行したことや、米国議会でロシア制裁強化法案が可決されたことなどがマイナス要因となり、期末にかけて下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。原油価格の回復が支援材料となる中、安定的なキャッシュフローが見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、企業業績の回復見通しや割安な株価バリュエーション等が支援材料となる金融セクターなどに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界的な経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託しております。株式組入比率は、85%程度以上を維持しながら、市場環境などに応じて機動的に変動させました。業種では、原油価格の値動きが大きくなる中、キャッシュフローの増加が見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、企業業績の回復見通しや割安な株価バリュエーション等が支援材料となる金融、素材セクターなどを高位としました。個別銘柄では、MAGNIT（生活必需品）、NLMK（素材）、MMC NORILSK（素材）、LUKOIL（エネルギー）などを組入上位としました。

年 月 日	基準価額		MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算)		株 式	株 式
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	組入比率	先物比率
(期首) 2017年2月20日	11,127	—	8,050	—	91.9	—
2月末	10,750	△ 3.4	7,735	△ 3.9	92.5	—
3月末	10,926	△ 1.8	7,877	△ 2.1	93.8	—
4月末	10,588	△ 4.8	7,549	△ 6.2	93.0	—
5月末	10,165	△ 8.6	7,274	△ 9.6	87.3	—
6月末	9,852	△ 11.5	7,001	△ 13.0	95.1	—
7月末	10,015	△ 10.0	7,154	△ 11.1	89.1	—
(期末) 2017年8月21日	10,035	△ 9.8	7,158	△ 11.1	86.5	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIロシア10/40指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIロシア10/40指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIロシア10/40指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の参考指数（MSCIロシア10/40指数（配当込み、円換算））の騰落率は△11.1%となりました。一方、当ファンドの騰落率は△9.8%となりました。

《今後の運用方針》

当ファンドは、豊富な天然資源という強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。原油価格の値動きが大きくなる中、キャッシュフローの増加が見込まれる銘柄を中心としたエネルギー、企業業績の回復見通しや割安な株バリュエーション等が支援材料となる金融、自国通貨安や鉄鋼価格の回復などの恩恵が期待される素材セクターなどに注目していきます。株式組入比率については、原油価格、世界的な経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	23円 (23)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	19 (15) (4)
合 計	42

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2017年2月21日から2017年8月21日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ロシア	百株 173,296 (△50)	千アメリカ・ドル 47,238 (△295)	百株 1,495,475.5	千アメリカ・ドル 49,321

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2017年2月21日から2017年8月21日まで)

銘 柄	当 期			期 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
NOVOLIPETSK STEEL PJSC-GDR (ロシア)	千株 300	千円 621,805	円 2,072	NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S (ロシア)	千株 39	千円 494,683	円 12,684
MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS (ロシア)	100	407,885	4,078	ROSNEFT OIL CO PJSC-REGS GDR (ロシア)	650	383,737	590
SEVERSTAL PJSC (ロシア)	240	351,598	1,464	SBERBANK PJSC-SPONSORED ADR (ロシア)	255	329,271	1,291
GAZPROM PJSC (ロシア)	1,250	317,131	253	NOVOLIPETSK STEEL PJSC-GDR (ロシア)	150	312,181	2,081
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S (ロシア)	23	314,767	13,685	ALROSA PJSC (ロシア)	1,600	262,905	164
TATNEFT PJSC (ロシア)	400	292,965	732	SBERBANK OF RUSSIA PJSC (ロシア)	850	254,700	299
MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR (ロシア)	166	261,969	1,578	LUKOIL PJSC-SPON ADR (ロシア)	42.5	238,545	5,612
ROSNEFT OIL CO PJSC-REGS GDR (ロシア)	400	255,165	637	TATNEFT PJSC (ロシア)	330	237,326	719
SBERBANK PJSC-SPONSORED ADR (ロシア)	210	254,277	1,210	MEGAFON-REG S GDR (ロシア)	195	224,803	1,152
MAIL.RU GROUP-GDR REGS (イギリス領バーミンガム)	90	237,429	2,638	SBERBANK-PREFERENCE (ロシア)	900	217,271	241

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・ロシア株マザーファンド

## ■組入資産明細表 外国株式

銘柄	株数	当 株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
(ロシア)						
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR	3,327.5	2,127.5	1,884	206,158	電気通信サービス	
VTB BANK JSC -GDR-REG S	8,500	11,000	2,171	237,486	金融	
NOVOLIPETSK STEEL PJSC-GDR	700	2,200	4,686	512,507	素材	
MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR	1,700	2,930	4,377	478,758	素材	
SISTEMA PJSC-REG S SPONS GDR	750	—	—	—	電気通信サービス	
MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS	450	1,450	5,363	586,611	生活必需品	
MEGAFON-REG S GDR	1,200	—	—	—	電気通信サービス	
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR	350	200	776	84,871	生活必需品	
GLOBALTRA-SPONS GDR REG S	—	200	172	18,811	資本財・サービス	
POLYUS PJSC-REG S-GDR	—	100	366	40,029	その他	
SBERBANK PJSC -SPONSORED ADR	2,200	1,750	2,108	230,633	金融	
MAIL. RU GROUP-GDR REGS	—	400	1,183	129,450	情報技術	
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S	380	220	2,244	245,426	エネルギー	
LUKOIL PJSC-SPON ADR	850	750	3,562	389,630	エネルギー	
ROSNEFT OIL CO PJSC-REGS GDR	5,000	2,500	1,255	137,259	エネルギー	
GAZPROM PAO -SPON ADR	7,500	4,800	1,852	202,588	エネルギー	
DETSKY MIR PJSC	3,500	—	—	—	一般消費財・サービス	
UNITED CO RUSAL PLC	2,500	—	—	—	素材	
TMK PJSC	4,000	2,500	304	33,295	エネルギー	
INTER RAO UES PJSC	450,000	350,000	2,276	248,962	公益事業	
SBERBANK-PREFERENCE	5,500	—	—	—	金融	
SURGUTNEFTGAS-PREFERENCE	40,000	65,000	3,159	345,597	エネルギー	
ALROSA PJSC	27,000	16,000	2,160	236,267	素材	
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ	11,550	17,550	3,247	355,194	金融	
BASHNEFT PJSC	50	—	—	—	エネルギー	
SBERBANK OF RUSSIA PJSC	15,000	10,000	2,867	313,574	金融	
MAGNIT PJSC	105	—	—	—	生活必需品	
TRANSNEFT PJSC	7	2.5	737	80,659	エネルギー	
SEVERSTAL PJSC	750	2,450	3,522	385,262	素材	
AEROFLOT PJSC	3,800	—	—	—	資本財・サービス	
MOSENERGO PJSC	200,000	—	—	—	公益事業	
MAGNITOGORSK IRON & STEEL WO	—	22,500	1,400	153,159	素材	
ROSTELECOM PJSC	3,750	—	—	—	電気通信サービス	
TATNEFT PJSC	3,000	3,700	2,384	260,760	エネルギー	
MMC NORILSK NICKEL PJSC	40	—	—	—	素材	
GAZPROM PJSC	7,500	17,000	3,335	364,819	エネルギー	
ROSNEFT OIL CO PJSC	—	1,500	761	83,263	エネルギー	
LUKOIL PJSC	600	500	2,392	261,682	エネルギー	
RUSHYDRO PJSC	2,350,000	1,300,000	1,808	197,773	公益事業	
フ ァ ン ド 合 計	株数、金額	3,161,559.5	1,839,330	62,361	6,820,497	
	銘柄数<比率>	34銘柄	28銘柄		<86.5%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年8月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	6,820,497 千円	86.1 %
コール・ローン等、その他	1,104,629	13.9
投資信託財産総額	7,925,126	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。  
 (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.37円です。  
 (注3) 当期末における外貨建純資産(7,864,118千円)の投資信託財産総額(7,925,126千円)に対する比率は、99.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年8月21日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>7,925,126,188円</b>
コール・ローン等	891,488,431
株式(評価額)	6,820,497,130
未収入金	201,188,323
未収配当金	11,952,304
<b>(B) 負債</b>	<b>40,044,691</b>
未払金	40,044,691
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>7,885,081,497</b>
元本	7,857,542,140
次期繰越損益金	27,539,357
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>7,857,542,140口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,035円

- \*期首における元本額は8,000,966,767円、当期中における追加設定元本額は771,284,924円、同解約元本額は914,709,551円です。  
 \*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ロシア株ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)20,353,665円、ダイワ・ロシア株ファンド7,831,398,915円、ダイワ新興4カ国株式ファンド(ダイワSMA専用)5,789,560円です。  
 \*当期末の計算口数当りの純資産額は10,035円です。

■損益の状況

当期 自2017年2月21日 至2017年8月21日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>235,700,390円</b>
受取配当金	235,723,085
支払利息	△ 22,695
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 1,126,601,760</b>
売買益	222,691,988
売買損	△ 1,349,293,748
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 15,536,338</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 906,437,708</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>902,072,438</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 17,760,449</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>49,665,076</b>
<b>(H) 合計(D+E+F+G)</b>	<b>27,539,357</b>
次期繰越損益金(H)	27,539,357

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。  
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。